

公共システム



1 消防通信指令システムのイメージ

での確かな指令を行う現場支援機能、災害発生時のさまざまな情報を集約・共有する大規模災害への対応支援機能などを拡充している。

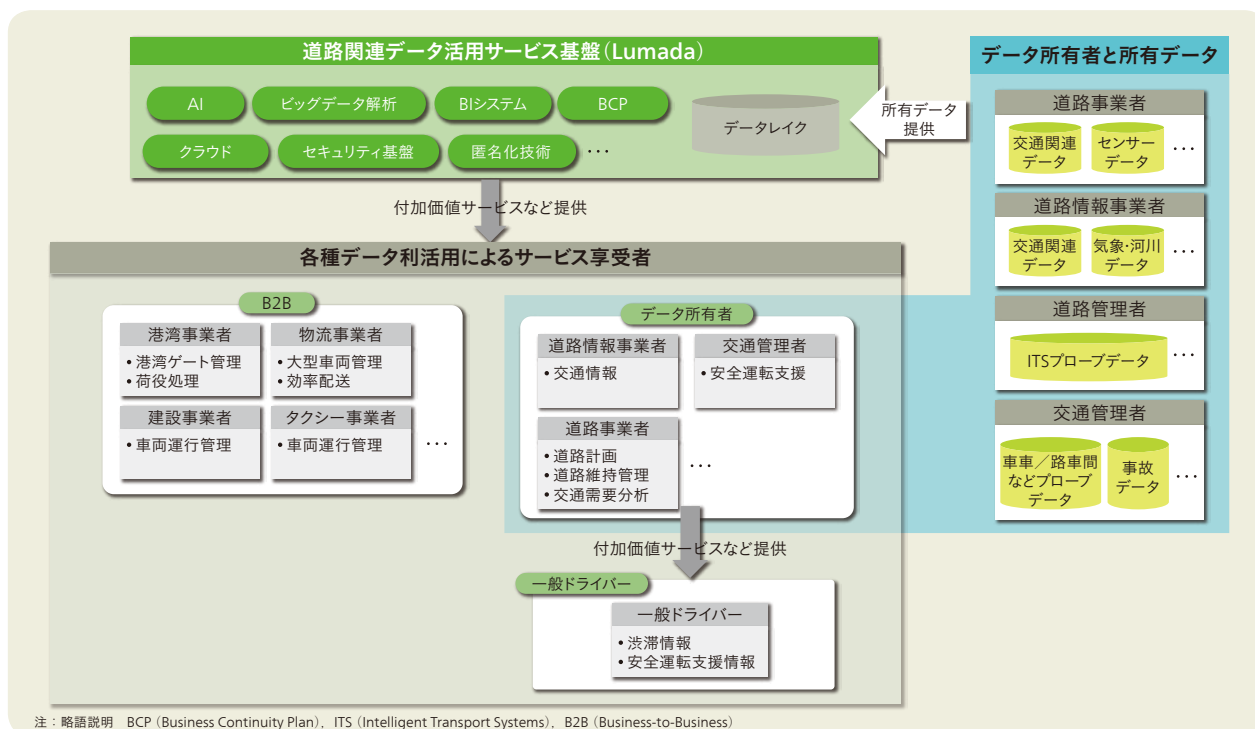
今後は、スマートフォンやタブレット端末、ウェアラブル端末を用いて、現場からリアルタイムな映像や関連情報を送信することにより、指令センターがより正確に現場の状況を把握・共有できるようなシステムを整備していく。また、AI (Artificial Intelligence: 人工知能) による支援など機能の拡充を進め、さらなる地域の安全・安心を実現する通信指令ソリューションを提供していく。

1 地域の安全・安心を実現する通信指令ソリューション

消防通信指令システムは、119番通報を受け付け、各地の消防署および車両へ迅速に出動指令を出すことで、市民の財産と生命を守る24時間不休のシステムである。近年は通報が多様化し、外国人・障がい者からの通報にも対応するため、多言語翻訳やチャット機能をはじめ、指令センターから通報に関する手書きのメモ・動画像などの情報を車載端末および現場活動端末に送信すること

2 道路関連データを活用したサービス基盤

昨今の自動車のIT化・ネットワーク化の進展により、道路関連データ、自動車プローブ情報などの収集・活用が進んでいる。「世界最先端IT国家創造宣言」においては、データ活用に向けた既存データの整備・オープン化、官の情報システムの高度化、データのデジタル化推進といった道路・交通関連データの利活用に関わる施策がうたわれており、これに伴う新しいサービスの創造が求め



2 道路関連データを活用したサービス基盤

られている。

そこで、各機関と連携し、現在収集・活用されている交通系データをAIやBI (Business Intelligence) などの技術を活用して見える化・分析し、新たな価値を創出するためのデータ利活用サービス基盤を検討している。

交通データと当該基盤の活用により、道路管理の分野以外にも、業務の課題解決・高度化などをめざす事業者のニーズに応じていく。例えば、物流事業者や港湾事業者などに対して、これまでよりも効率のよい配送計画の立案、荷役処理計画の立案、大型車両管理などの新たな価値を提供していく。

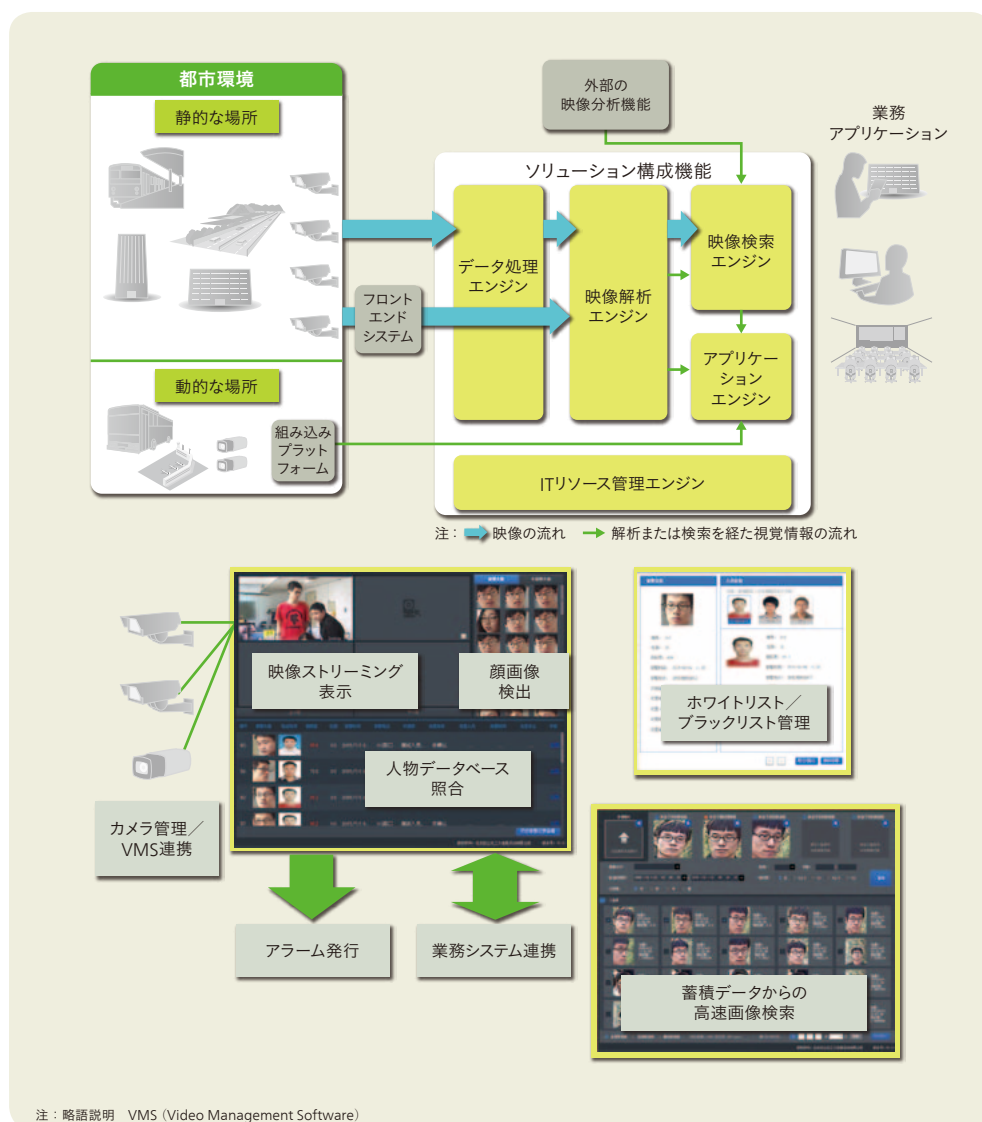
3 セキュリティ社会を支える 映像分析検索ソリューション

近年、増加するテロなどの脅威を踏まえ、世界的に映像監視の強化が求められている。企業や小売業界などにおいても同様に、産業スパイ、怠業および窃盗などによ

る損失を防ぐため、セキュリティカメラへの投資が行われている。しかし、映像コンテンツに含まれている情報や知見を完全に把握するには、映像の符号化および視覚空間の特性（容量、複雑性、多様性）による障害も多い。これらを克服するため、超高速の映像検索、高度な映像解析、システム負荷の小さい映像処理、柔軟な映像プラットフォームといった技術を集約し、社会インフラの安全・安心の確保に貢献する映像分析検索ソリューションを構築した。

都市セキュリティ分野に限らず、商業、不動産、報道といったさまざまな市場分野でも、映像情報から得られるデータを利用した新たな事業の創出や、既存事業の業績改善が期待できる。

今後は、先進的な映像検索・解析技術、多様なインタフェースおよび高度な最適化機能を積極的に活用し、人間の視覚を超える水準で動画像情報の利活用を図るソリューションプラットフォームの形成を推進していく。



3 映像分析検索ソリューションのアーキテクチャ(上)と機能例(下)